

# 第 5 回 介護・医療連携推進会議 議事録

日時：令和 8 年 3 月 23(木) 14:30～15:30

場所：ハイピア伊賀5階学習室 1(A)

主催：有限会社伊賀家政婦紹介所(事業所名:さくらんぼ)

## 1. 出席者紹介

- 行政：伊賀市 介護高齢福祉課 M 様
- ケアマネジャー： G 様、F 様
- 事業者(さくらんぼ)：松浦、西、瀬川健太、瀬川魁人

## 2. サービス概要と報酬改定(令和 6 年 4 月改正)

資料 No.2 および No.3 に基づき、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、および夜間対応型訪問介護の解説が行われました。

- 対象：要介護 1～5 の方
- 定期巡回・随時対応型サービス：
  - 定期巡回、随時対応、随時訪問、訪問看護(連携型)の 4 機能。
  - 「さくらんぼ」は訪問看護事業所を持たないため、外部事業所への業務委託(連携型)で対応。
  - 報酬改定：全体として報酬単価は微減したが、訪問看護サービス部分は微増。
- 夜間対応型訪問介護(新設)：
  - 18 時～翌朝 8 時に限定したサービス。昼間は通常の訪問介護を利用し、夜間のみ本サービスを利用することが可能。
  - 基本料金(989 単位/月)+訪問 1 回ごとの出来高単価という料金体系。

### 3. 事例紹介

資料 No.4 に基づき、具体的な支援事例が報告されました。

#### 事例： S 様(60 歳代、男性、要介護 4、独居)

- **背景:** 透析通院中。脳梗塞再発による長期入院を経て退院。ADL が低下
- **支援内容:** 毎日決まった時間の声掛け(5～10 分の短時間訪問)を実施。
- **効果:** 毎日、複数回の訪問で、排せつや清拭等の身体保清面、買い物や掃除、調理支援等の家事全般的な支援が可能になった

#### 事例： F 様(60 歳代、女性、要介護 1、独居)

- **背景:** 正常圧水頭症による記憶障害(1 時間前のことを忘れる)がある。
- **支援内容:** 毎日決まった時間の声掛け(5～10 分の短時間訪問)を実施。
- **効果:** 定期巡回による頻回な安否確認が本人の生活リズム維持と家族の安心感に寄与。

◎ **全体傾向:** 訪問頻度が増え、通常の訪問介護では支給限度額を超えてしまうケースにおいて、定額制である定期巡回への切り替えが有効である。

### 4. 活動報告および外部評価結果

資料 No.5 および No.6 に基づき、事業所の自己評価とアンケート結果が報告されました。

- **運用面:**
  - 記録のペーパーレス化(スマホによるウェブ入力)を推進中。
  - 課題として、多忙による入力漏れの防止や、関係者が閲覧しやすい仕組み作りを継続する。

- **連携面:**
  - 外部の訪問看護事業所との連携を深めるため、担当者の明確化や定期的な連絡体制を強化したい。
- **周知活動:**
  - サービス自体の認知度がまだ低いため、ホームページやパンフレットの活用に加え、積極的な足を使った周知活動が必要。

## 5. 現場スタッフ(ヘルパー)からの報告

- 介護保険の枠組みでは難しい頻回な訪問ができる点は、本人・家族にとって大きな安心感となっており、感謝の言葉を多くいただいている。
- スタッフの負担はあるが、非常にやりがいを感じて取り組んでいる。

## 6. 質疑応答・運営に関する意見交換

- **会議のあり方について:**
  - 自治会役員や民生委員など、地域の方々にも活動報告や外部評価結果を共有する場とすることが望ましい。
  - 頻度は年2回程度が目安。
  - リモート会議の活用についても、地域とのつながりや参加しやすさを考慮しながら検討していく。